

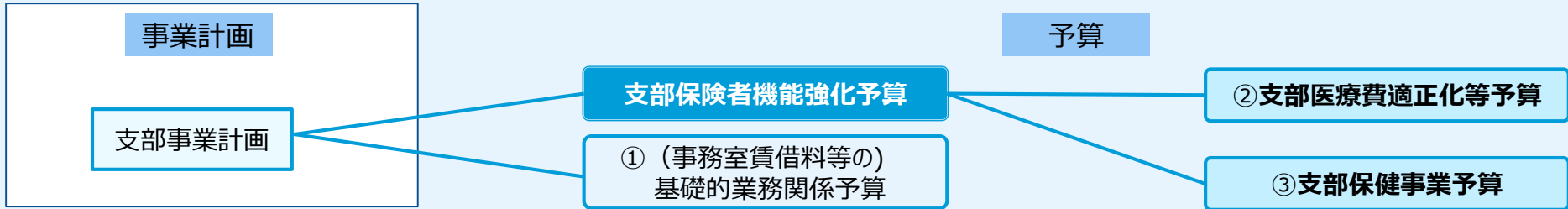
令和4年度支部保険者機能強化予算について

支部保険者機能強化予算とは

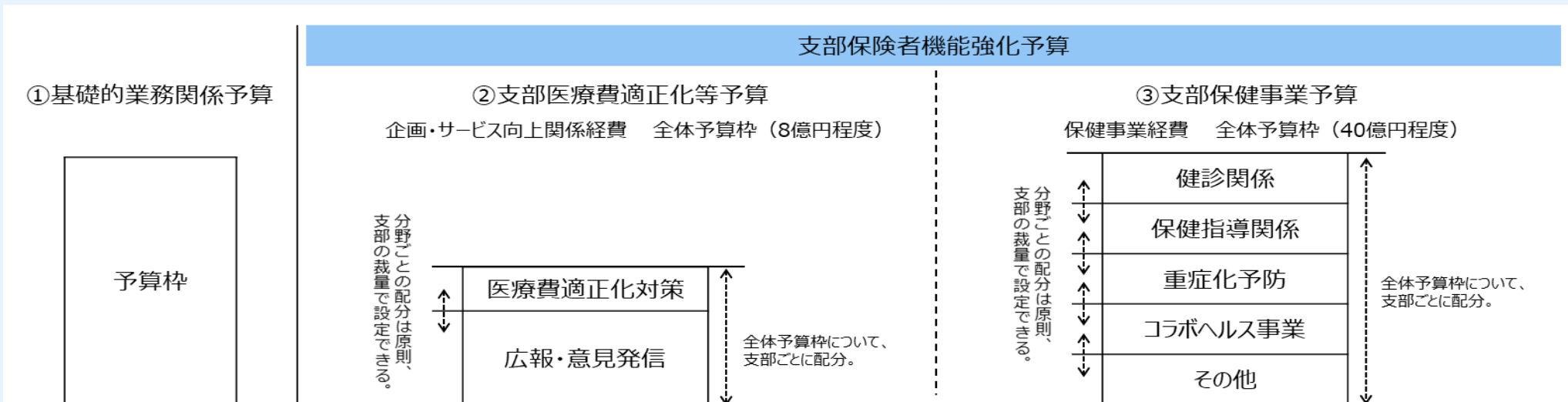
支部保険者機能強化予算とは

中長期的な財政運営等という観点も踏まえて、各支部で地域の実情に応じた医療費適正化や健康づくり等の保険者機能を強化する取組を実施するために計上する予算。

支部保険者機能強化予算の位置づけ（イメージ）



令和元年度からの予算体系



○戦略的保険者機能関係

- (1) 特定健診の推進及び事業者健診データの取得促進
- (2) 保健指導の拡充と質の向上
- (3) データヘルス計画の推進（糖尿病重症化予防等）
- (4) 健康経営の推進（コラボヘルス事業）
- (5) その他保健事業
- (6) 広報の有効活用と加入者サービスの充実
- (7) 健康保険委員と連携した事業の推進
- (8) ジェネリック医薬品のさらなる使用促進
- (9) 医療費適正化の取組みの推進
- (10) インセンティブ制度の着実な実施
- (11) 地域とのさらなる連携強化
- (12) 地域医療体制への働きかけ強化
- (13) 調査分析能力の向上と推進

令和4年度埼玉支部保険者機能強化予算

【医療費適正化等予算】

(単位：千円)

番号	令和4年度事業計画	分野	区分	取組名	事業概要	令和4年度予算額①	【参考】令和3年度予算額②	増減(①-②)	令和3年度からの増減要因など
1	戦略(8)	医療費適正化対策経費	継続	ジェネリック医薬品メーカーの工場見学(親子向け)	小学生以下のお子さんと保護者の方をターゲットに、社会科見学として大手のジェネリック医薬品メーカーの工場見学を実施する。	330	330	0	
2	-		継続(削除)	多剤投与者(ポリファーマシー)対策推進事業	複数の疾患を抱え多剤を処方される高齢者を対象に、心身への影響の啓発やかかりつけ薬剤師の周知(※ポリファーマシー対策)を実施し、安全な薬物療法と医療費の適正化を推進する。	0	225	▲225	事業自体の見直しにより減額
3	戦略(8)		継続	ジェネリック医薬品使用促進に向けた広報	ジェネリック医薬品使用促進を目的として、埼玉県主要駅、公共施設などに設置されているデジタルサイネージや大手検索サイトのバナー広告を活用し、広報を行う。	8,415	11,429	▲3,014	過年度実績に基づく見直しにより減額
4	-		継続(削除)	ジェネリック医薬品使用促進セミナー	関係団体と連携し、100~200人規模のジェネリック医薬品使用促進を図るセミナーを開催する。	0	727	▲727	隔年開催により本年度は減額
5	戦略(8)		新規	ジェネリック医薬品使用促進に向けた座談会の開催	ジェネリック医薬品使用促進に向け、有識者等による座談会を開催。座談会の内容を地元新聞紙に掲載し、啓発を図る。	879	0	879	隔年開催により本年度は増額
6	-		新規(削除)	債権回収の強化	定期催告(3か月目催告時)に使用する封筒の色(ピンク等)を変え、また法的措置予告通知チラシを同封し、債務があることを強く認識させ、支払いを促す。	0	97	▲97	前年度の効果検証をするため本年度は減額
医療費適正化対策経費 計						9,624	12,808	▲3,184	
7	戦略(6)	広報・意見発信経費	継続	紙媒体による広報	各種現金給付にかかるリーフレットの作成及び広報誌の作成等	6,001	4,615	1,386	印刷部数及び単価の見直しにより増額
8	戦略(6)		継続	新規加入事業所説明会	新規加入事業所を対象とした説明会を開催し、健康保険制度等の理解を深めてもらうとともに協会けんぽと事業所の距離を縮めることで事業運営の円滑化を図る。	1,815	665	1,150	印刷単価の見直し及び一部事業の追加により増額
9	戦略(6)		継続	地元新聞紙面を活用した意見発信	健診受診勧奨やジェネリック医薬品使用促進等に関する情報を新聞紙面を活用することで、健康づくりや地域医療に対する加入者及び事業主の意識醸成を図る。	1,100	1,100	0	
10	戦略(9)		継続	セルフケアの普及促進に関する事業	日頃の健康管理や生活習慣の改善等のセルフケアや、上手な医療のかけ方に関する情報をラジオや新聞紙面を活用することで、効率的に情報発信して健康づくり・医療費適正化等、地域医療に対する加入者及び事業主の意識醸成を図る。	2,000	2,000	0	
11	戦略(6)		継続	地元メディアを活用した受診勧奨	特定健診の受診率向上及び特定保健指導の利用推進、ジェネリック医薬品使用促進等のため、地元テレビ局等の地域密着型情報番組で番組内パブリシティ(ミニコーナー)を放送し、加入者への呼びかけを行っていく。	1,320	2,200	▲880	テレビ出演回数の見直し及びラジオ出演に係る予算を下記12に別計上したことにより減額
12	戦略(6)		新規	地元メディア(ラジオ)を活用した受診勧奨等	運送業やタクシー運転手等、よくラジオを聴く職種をターゲットに、健診の重要性や健康づくり情報等について、地元ラジオ局等の地域密着型情報番組で番組内パブリシティ(ミニコーナー)を放送し、加入者への呼びかけを行っていく。	1,650	0	1,650	ラジオ出演回数の見直し及び上記11から別計上したことにより増額
広報・意見発信経費 計						13,886	10,580	3,306	
医療費適正化等予算合計【参考】予算枠:23,512千円						23,510	23,388	122	

令和4年度埼玉支部保険者機能強化予算

【保健事業予算】

(単位：千円)

番号	令和4年度事業計画	分野	区分	取組名	事業概要	令和4年度予算額①	【参考】令和3年度予算額②	増減(①-②)	令和3年度からの増減要因など
1	戦略(1)	健診経費	継続	健診実施機関実地指導旅費	健診・保健指導実施機関に対する実地指導及び打ち合わせにかかる交通費	60	60	0	
2	戦略(1)		継続	事業者健診データ取得勸奨	県との連名チラシを活用した事業所への文書・電話・訪問による勸奨を実施するとともに、外部委託を活用した電話・訪問による勸奨を実施する。	26,362	24,525	1,837	電話勸奨等の新規実施により増額
3	戦略(1)		継続	集団健診および特定保健指導の実施	県内全域で、集団健診（オプション健診付加、市町村とのがん検診同時実施含む）および特定保健指導を実施するとともに、集団健診会場において歯科健診を実施する。	25,155	29,794	▲ 4,639	会場借料等の見直しにより減額
4	戦略(1)		継続	健診推進経費	健診（生活習慣病、事業者健診データ取得、特定健診）の実施率向上を目的とした経費	7,661	8,813	▲ 1,152	過年度実績に基づく見直しにより減額
5	戦略(6)		継続	受診勸奨横断幕、がん検診の新聞広告の掲載	健診受診率向上のため、さいたまスーパーアリーナへの横断幕掲載。また、がん検診の受診率向上に向けて、新聞及びラジオでのピンクリボン運動等の広報を実施。	1,045	715	330	一部事業の追加により増額
6	戦略(1)		継続	受診勸奨用リーフレット等の作成（年次案内）	特定健診（被保険者・被扶養者）のご案内に同封するリーフレット等及び生活習慣病予防健診実施機関において健診結果に同封するリーフレットの作成。	7,282	10,994	▲ 3,712	過年度実績に基づく見直しにより減額
7	戦略(1)		継続	新規加入事業所及び新規加入者への健診案内送付	新規加入した事業所、新規加入者への健診案内リーフレット等の作成及び封入封緘から発送。	3,542			
8	戦略(1)		継続	健診未受診事業所への受診勸奨	健診・保健指導カルテを活用し、受診勸奨対象事業所を選定。勸奨対象事業所へ生活習慣病予防健診及び事業者健診結果データ提供についての勸奨文書を送付。	2,090	6,435	765	印刷部数及び単価の見直しにより増額
9	戦略(1)		継続	日曜健診にかかる案内文書の作成、発送業務	家族と一緒に健診受診をコンセプトに、生活習慣病予防健診及び被扶養者の特定健診のどちらも契約を締結している健診実施機関のうち、3月の日曜日に健診が可能な機関により実施。	1,568			
10	戦略(1)		継続	加入者サービスのための健診予約状況照会サービスの導入	支部ホームページ上に健診機関の予約状況が確認できるシステムを導入し、健診機関の予約状況を掲載。各健診機関の予約状況を見える化し、受診しやすい環境を提供することで受診率向上を図る。	264	664	▲ 400	前年度に要したシステムに係る初期費用不要により減額
健診経費 計						75,029	82,000	▲ 6,971	
11	戦略(2)	保健指導経費	継続	中間評価時の血液検査費	血液検査単価3,300円（税込）×実施予定人数	2,640	3,300	▲ 660	過年度実績に基づく見直しにより減額
12	戦略(2)		継続	医師謝金	保健指導に関する医学的意見・助言を行う医師に対する報酬	64	77	▲ 13	過年度実績に基づく見直しにより減額
13	戦略(2)		継続	事務経費	保健指導にかかるパンフレット・事務用品・図書購入経費	940	820	120	備品等の新規購入により増額
14	戦略(2)		継続	保健指導推進経費	実施機関における特定保健指導実績の向上に向けた取り組みの動機づけとなるよう、一定規模以上の実施機関を対象に実績に対する報奨金	462	162	300	過年度実績に基づく見直しにより増額

令和4年度埼玉支部保険者機能強化予算

番号	令和4年度 事業計画	分野	区分	取組名	事業概要	令和4年度 予算額①	〔参考〕 令和3年度 予算額②	増減 (①-②)	令和3年度からの増減要因など
15	-	保健指導 経費	継続 (削除)	保健指導関係委託費	システム対応ができない保健指導委託費	0	290	▲ 290	基礎的業務関係予算への移行により減額
16	-		継続 (削除)	その他保健指導経費	公民館等における特定保健指導、付加価値を付けた特定保健指導 など	0	342	▲ 342	事業自体の見直しにより減額
保健指導経費 計						4,106	4,991	▲ 885	
17	戦略 (3)	重症化 予防経費	継続	未治療者受診勧奨	二次勧奨対象者であり、回答書の返信がない者と「受診予定なし」と返 信してきた者に対し、委託業者（保健師など専門知識を備えた者）よ り対象者へ電話勧奨を実施する。	11,358	6,931	4,427	電話勧奨等の新規実施により増額
18	戦略 (3)		継続	重症化予防対策	埼玉県が作成した糖尿病等重症化予防プログラム及び、医師等と連 携し、重症化予防を実施する。	18,620	17,300	1,320	過年度実績に基づく見直しにより増額
重症化予防経費 計						29,978	24,231	5,747	
19	戦略 (5)	コラボヘルス 事業経費	継続	禁煙チャレンジ制度	喫煙者に禁煙を促すとともに、禁煙時に禁煙宣言をしてもらい、3か月 以上の禁煙成功者に認定証を交付。宣言時には、サポーターを登録し てもらい、周囲の人から禁煙をサポートしてもらう。	220	176	44	新規リーフレットに係る印刷費の追加により増額
20	戦略 (4)		継続	県と連携した加入者の健康づくり事業（コバトン健康マイ レージ）	県民の健康づくりへの取組みに対しインセンティブを付与することにより、 県民の健康づくりや特定健診の受診の推進に寄与することを目的とす る。また、健康宣言事業所のフォローアップのツールとして活用する。	1,000	1,000	0	
21	戦略 (4)		継続	健康経営優良企業の認定	健康経営および健康宣言に関するパンフレットを作成し、事業所へ健 康経営の普及および健康宣言の参加勧奨を行う。また、健康経営埼 玉推進協議会を定期的に開催し、県・さいたま市・健保連埼玉連合 会・協力事業者と連携して健康経営の取組みを促進する。	1,387	2,097	▲ 710	事務費全般の見直し及び事例集作成に係る予算を下記 22に別計上したことにより減額
22	戦略 (4)		新規	健康経営実践事業所好事例集の作成	健康経営に取り組む企業の優良な取組や参考となる課題を展開するこ とで、従業員の健康度の情報を図る。	1,650	0	1,650	上記21から別計上したことにより増額
23	戦略 (4)		新規	健康経営に関する動画配信	優良な取組を行っている企業の紹介等を健康宣言を実践している事業 所が活用できる動画を作成し、YouTubeで配信。	1,650	0	1,650	新規事業により増額
24	戦略 (13)		継続	健康経営の効果測定	「健康宣言」が加入者の健康増進に効果、影響があるかを分析。	2,074	3,300	▲ 1,226	事務費全般の見直しにより減額
25	戦略 (4)		継続	スモールチェンジ活動等を活用した健康宣言事業所のサ ポート	健康宣言事業所に対して、健康経営の取組みの一環として、スモール チェンジ活動等を推進する。また、健康宣言事業所へのサポートツールと して活用できるよう活用方法の検証を行う。	660	5,874	▲ 5,214	健康経営サポートカルテ作成に係る予算を下記26に別計 上したことにより減額
26	戦略 (4)		継続	健康経営サポートカルテの作成	加入事業所の健康度を見る化するため、健康経営サポートカルテを 作成し、事業主へ提供し、従業員の健康づくり意識の醸成を図る。	6,325	1,650	4,675	健康経営サポートカルテ作成に係る予算を上記25から別 計上したことにより増額
コラボヘルス事業経費 計						14,966	14,097	869	

令和4年度埼玉支部保険者機能強化予算

番号	令和4年度事業計画	分野	区分	取組名	事業概要	令和4年度予算額①	【参考】令和3年度予算額②	増減(①-②)	令和3年度からの増減要因など
27	戦略(5)	その他経費	継続	埼玉県等と協働した健康づくりイベント等での健康相談	地域のイベント等において血管年齢測定および健康相談や連携協定を結んでいる団体との協同事業としてイベントに参加する。	400	1,086	▲ 686	イベント運営費全般の見直しにより減額
28	戦略(13)		新規	大学と共同研究した重症化予防に関する分析	重症化予防を効果的・効率的に行うために、健診・指導データの分析結果からアドヒアランス（健康関連行動）診断、将来のリスク分類を行い、対象者に合わせた介入を行う。	1,980	0	1,980	新規事業により増額
29	戦略(13)		継続	糖尿病重症化予防等にかかる分析	治療中断者への対策として、受診勧奨を実施し、治療再開を促し、重症化を防ぐ。また、健康宣言事業所等に歯科検診を実施し、糖尿病等の生活習慣病リスクとの関連について分析を行う。	7,480	8,470	▲ 990	データ分析費全般の見直しにより減額
30	戦略(4)		継続	健康経営情報交換会	健康経営の質の向上を図るため、健康宣言事業所間の情報交換会を開催し、実践事業所間どうしの情報交換を行う。	825	540	285	開催回数等の見直しにより増額
31	戦略(4)		継続	メンタルヘルス対策セミナー	企業におけるメンタルヘルス対策の推進を図り、関係団体と連携し、メンタルヘルス対策セミナーを開催する。	595	540	55	イベント運営費全般の見直しにより増額
32	戦略(3)		継続	未治療者に対する0次勧奨	本部が行っている受診後6か月後の一時勧奨を待たずに、生活習慣病予防健診の健診結果が手元に届く時期に合わせて受診勧奨を実施する。	3,916	3,135	781	電話勧奨等の新規実施により増額
33	戦略(5)		継続	保健事業計画アドバイザー経費	保健事業計画にかかるアドバイザーへの謝金	91	91	0	
その他経費 計						15,287	13,862	1,425	
保健事業予算合計 【参考】予算枠:139,183千円						139,366	139,181	185	予算枠183千円を超過しているが本部承認済
総計（医療費適正化等予算合計+保健事業予算合計）【参考】予算枠:162,695千円						162,876	162,569	307	